

結果の保存

このページでは、JMP®の出力や結果を保存する方法を紹介しています。

選択ツールを使用して他のソフトウェアへコピー＆ペーストする

- レポートウィンドウなど JMP の出力が含まれているウィンドウで、ツールバーの選択ツールをクリックするか、またはショートカットであるキーボードの S のキーを押します。
- コピーしたい部分をクリックして選択します。選択された部分は強調表示されます。すべての内容を選択したい場合は、ウィンドウの隅の方をクリックします。すでに選択したところをそのままにして追加的に選択をする場合は Shift キーを押しながら選択します。
- 編集 > コピー をクリックします(または Ctrl+C)。
- コピーした内容を貼り付けたいソフトウェアをアクティブにし、貼り付けを選びます。オブジェクトとして貼り付けるには、形式を選択して貼り付けを選択し、図(拡張メタファイル)を選びます。

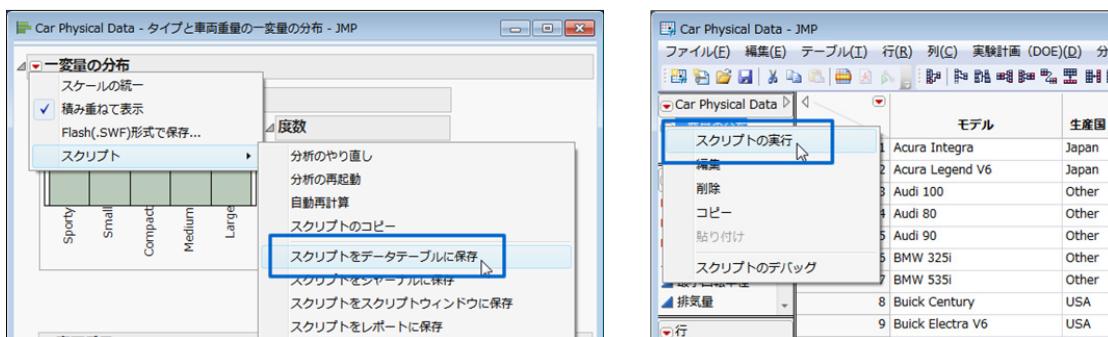
Mac の環境では、ペーストを選択します。または、形式を選択してペースト > PDF を選ぶと高品質のグラフィックを貼り付けられます。



スクリプトを利用して保存する

どのような指定をして分析を行ったかを JSL(JMP Scripting Language)スクリプトとして保存することもできます。このスクリプトによりいつでもレポートを再現できます。

- JMP のレポートウィンドウの最上部にある赤い三角から、スクリプト > スクリプトをデータテーブルに保存を選択します。
- 保存されたスクリプトの名前がデータテーブルのテーブルパネルに表示されます。
- スクリプトを実行するには、テーブルパネルにあるスクリプト名の左にある赤い三角をクリックして、スクリプトの実行を選びます。名前やスクリプトを変更するには、赤い三角から 編集 を選びます。
- ファイル > 保存を選択して、スクリプトやその他データテーブルに対して行われた変更を保存します。



注意: 編集 > 選択部分を保存 で、選択した部分を JPG、EPS、SVG、GIF のいずれかのグラフィック形式で保存できます。Mac では、control キーを押しながら 編集 > 選択部分を保存 で、選択部分を PNG 形式で保存できます。また、ファイル > 書き出し でレポート全体を PNG、TIFF、SVG、EPS のいずれかで保存することもできます。